

今すぐに行えること 1

「備えあれば憂いなし」、私たちが地震や津波から生き抜くためには、災害が発生してから対策を始めるのでは手遅れです。市や県など行政からも様々な情報を提供したり、助成を行っていきますが、何よりもみなさん自身が防災意識を高く持ち、備えることが重要です。

できることはたくさんあります。家族やご近所のみなさんと相談・協力しながら、みんなで取り組んでいきましょう。

お済みですか？ 地震・津波対策

建築物 耐震化を進めよう

■ 住宅の耐震工事に補助金が出ます

昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断や耐震補強工事を行う場合、費用の一部を補助します。 ※対象や金額は変更される可能性があります。

STEP 1 わが家の専門家診断
耐震補強相談士を派遣し、無料で耐震診断を行います。

STEP 2 耐震精密診断と補強計画
補強計画の作成にかかる費用の3分の2かつ上限96,000円(65歳以上の人のみが居住する住宅の場合は、作成にかかる費用かつ上限144,000円を補助します。

STEP 3 木造住宅耐震補強助成
耐震補強工事を実施する場合、上限50万円(65歳以上の人のみが居住する住宅等の場合は上限70万円)まで補助します。(平成27年度まで)
※専門家診断または耐震精密診断で、耐震評点が1.0未満と診断された住宅を1.0以上にし、工事前の耐震評点から0.3以上向上する補強工事が対象です。

※事前に補助金の申請が必要です。

■ ブロック塀の撤去・改善に補助金が出ます

老朽化したブロック塀や石塀などは、地震で倒壊すると避難道路をふさいだり、通行人を負傷させてしまう恐れがあり、非常に危険です。危険なブロック塀・石塀などの撤去や改善を行う場合、費用の一部を補助します。

ブロック塀等の撤去・改善

- 対象 倒壊または転倒の恐れのある、道路に面した高さ60cmを超えるブロック塀等の撤去、又は防災上安全な塀への造り替え
- 補助率 撤去・改善に要する経費の2分の1(上限:撤去10万円、改善25万円)。
なお、津波避難路沿いの場合は、撤去・改善に要する経費(ただし、1mあたりの補助基本額の制限あり)となります。

※事前に補助金の申請が必要です。

詳しくは沼津市建築指導課 ☎934-4759までお問い合わせ下さい。

家具など 家具などの転倒・落下を防ごう

タンスや棚、冷蔵庫などは、地震発生時に転倒しないようしっかり固定しましょう。固定器具は量販店などで販売されています。また満65歳以上の高齢者世帯や障害のある人を含む世帯、母子家庭世帯等には家具の固定を**無料**で行います。

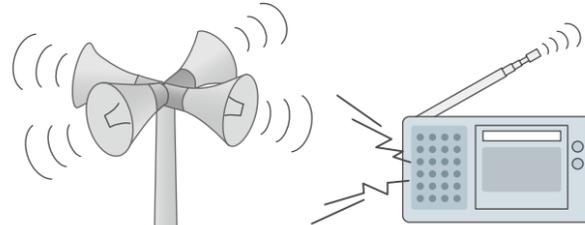
詳しくは沼津市危機管理課 ☎934-4803までお問い合わせ下さい。



静浦地区 避難訓練の様子

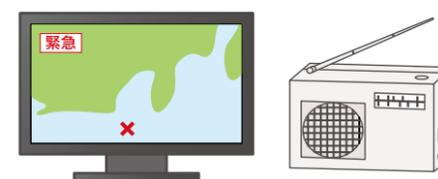
情報 情報の活用を心掛けよう

同報無線・防災ラジオ



○沼津市から防災・緊急情報をお知らせします。

テレビ・ラジオ



- テレビはデータ放送からも情報を得ることができます。
- COAST-FM(FMぬまづ)76.7MHzでは、沼津市のきめ細かい情報をお知らせします。

通信会社



- 携帯電話緊急速報メール
NTTドコモ、au、ソフトバンクのサービスが利用出来ます。
- 沼津市危機管理情報メール
登録は公式HP、携帯サイトから

NTT災害用伝言ダイヤル(171)

NTTが災害時にサービスを提供します。家族・知人の安否確認や、ご自身の居所の伝達に役立ちます。

録音/再生時のダイヤル方法 【録音時間】1伝言 30秒以内

- 録音するときは
171...1...0XX...XX...XX...録音
- 再生するときは
被災地内のNTTの自宅電話番号
171...2...0XX...XX...XX...再生

※携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」も活用して下さい。
詳しくは各社にお問合わせ下さい。

関係機関ホームページ



- 沼津市 危機管理情報
<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>
- 静岡県 緊急・危機管理情報
<http://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/>
- 静岡県防災GIS情報
<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/>
- 静岡県 サイボスレーダー
<http://sipos.shizuoka2.jp/sipos/>

一口メモ

同報無線、防災ラジオは、全国瞬時警報システム(J-ALERT(ジェイアラート))の情報を受け、24時間365日、みなさんに地震・津波情報をお知らせします。

全国瞬時警報システムは総務省消防庁が運営し、地震・津波や気象情報などの緊急情報を、人工衛星を利用して、瞬時に全国の自治体へと伝えるシステムです。

訓練 訓練に積極的に参加しよう

沼津市と自主防災組織は連携して、夜間の実施や地域特性を考慮した、より実践的な訓練を行いますので、積極的に参加しましょう。また、津波避難訓練対象区域にお住まいの方は、併せて津波避難ビルや津波避難路を確認しましょう。

